



44  
26h



始





44-26



東京書籍  
商組合  
負

大正七年五月刊行

# 圖書總目錄

東京書籍商組合事務所

大正  
7.6.13  
内交



## 序

明治大正の御世が我が國史上最も偉大なる一時期であることは何人も異論を挟まぬ程に明白なる事實である。而して此時期の偉大なる所以を表明する手段は種々あるけれども、最も之を的確にあらはすものは此時代出版物の總目錄に越すは無い。見よ此時代に著された書籍は人間の知識のあらゆる方面に亘つて殆ど洩れる所無く、且其數量の多いことも以往五十年乃至百年の一時期に於ては曾て無い所である。書籍は文化の源泉であつて同時に文化の方便であるとすれば、此くの如く豊富なる出版物が明治大正の文化に如何なる又幾許の貢献をなしたかは概ね知られるのである。西哲の言に書籍は功業、功業は書籍なりとある。此功業に富んだ此時期を目して我が文明史上の一壯觀と謂ふのは決して後世史家の所斷を須つまでも無い。



此かる出版界の盛況を一目瞭然にあらはして現代に示し又後昆に傳ふ  
ることは明治大正の御世に居る者のなすべき事業の一である。東京書籍  
商組合事務所が其組合員の出版物總目錄を編纂することは吾人の爲に此  
要求を充たすものとして大に稱揚に値するのである。之をば單に組合員  
營業上の便宜を圖つたものと視て吾人が其勞其功を黙々に附せんとする  
のは極めて卑吝なる心情の發露ではあるまいか。況や該目錄は組合員相  
互の便益の爲のみで無く、一般讀書人の求書上利益にも周到の注意を拂  
つて居るのは其編纂の體制によつて明かに知られる。尙又組合員の利益  
といふ事も一應吟味すれば、畢竟此等求書家の需要に應ずるのを先とし  
たものである。此目錄の前編に就いて此は書籍を賣る爲の道具であると  
多少貶して考へた人が學者社會の中に在つたと聞いたが、是程一知半解  
のことはあるまい。賣る者があるのは買ふ者があるからで、世の中は相

持ちの古諺は今も變らぬ。殊に此目錄は賣る者買ふ者雙方の役に立つや  
うに作られてあるのである。

本編は前回のものを増補したのみならず、全體について修正改良の點も  
あり、編纂者小林鶯里氏の苦心は歴々として見られる。余は此好目錄が  
出版業者の唯一の参考書たるに止まらず、汎く讀書人机上の常伴たらん  
ことを切望する。又明治大正時代の文化推移の狀を大觀せんとする人々  
の爲に絶好パノラマとして本編を薦めたい。

大正七年四月末日

東京帝國大學圖書館に於て

和田萬吉識す



## 序

當組合の圖書總目錄の第五版が出来上つて公にせられることになつた。これは當組合員の發行にかゝる新版並に舊版の圖書を總括したもので、其中に掲載せられてゐる部數は約參萬參千數の多きに及んでゐる。編纂の體裁は、書名の五十音別と、發行所別と、類別と、著作者別との四大部門に別れてゐて、同一圖書が各部門毎にそれ／＼記載せられてゐる。故に、もしある目的の爲に圖書を、この目錄について搜索するときには、何れの方面からも尋ね出すことを得て、非常に便利である。所謂囊の中のものを探ぐるが如く、呼べば答ふる如くに、其目的を達せられる。從來我國に各種の書目はあるが、かやうに多數の書名を、かやうに便利なる體裁に整理したものはかつて聞き及ばぬ。それが此度出來たのは、たゞに當組合の爲といふよりは、讀書社會の爲、出版社會の爲に大



に慶ばしい次第である。近日新聞紙に見えたところに依れば、内務省には幾十萬の圖書がありながら、其整理がつかず、其整理の世話を他に依托して斷られたといふので、かやうな事業の困難な程度を思ひやられる。抑も、當組合でこの總目録の第一版を初めて発行したのは、明治二十六年の七月で、掲載の部数は九千八百六十七種であつた。其後四年十ヶ月を経て、明治三十一年の五月には第二版が編纂せられて、壹萬〇八百四十四種の圖書を世に紹介した。次に第三版は八年五ヶ月の後、明治三十九年の十月に成つて、壹萬八千八百四十四種の圖書が記してあつた。更に四年五ヶ月を過ぎて、第四版が公になつたのは明治四十四年の三月であつて、それに載せられた書名は二萬二千九百〇八種になつた。以上の部数について考へるに、第三版は初版の約二倍となり、第四版は第二版の約二倍に及び、この度の第五版は、初版の三倍以上にも増加し、初版

發行以來二十餘年の間に、毎年發行部数の増加したことをあらはしてゐて、實に我文化の進歩の一面を示してゐる。

又其編纂の體裁は、初版以來、書名のいろは別と、發行所別と、類別との三大部門だけであつたのを、この度は、其いろは別を五十音別に改め、新に著作者別の一部門を設けて、著作者の名に依つて、其人の著作の圖書を知るの便益を増したのも、またこの目録の一進歩であつて、漸次に理想に近いものとなつてきた。

思ふに、この目録を使用して利益を得るものは、世の讀書家や、出版業者、書籍商ばかりではない。學者も、教育者も、政治家も、實業家も、宗教家もよく之を活用すれば、其智識の上にも趣味の上にも多大の効果をを得るであらう。殊に圖書館とか、學校とかでは其事務教務の敏活の度を加ふることが出來やう。



今や歐洲では、戦亂の爲に高尚なる著作や、出版は差しおきて、砲彈を造つたり、塹壕を掘つたり、船を撃沈めるの、沈められるのと云つて騒いでゐる間に、我國では明窓の下、淨机によりて、著作に耽つてゐる人もあり、紙が無いの、印刷料が高いのと云ひながら、名著大作の廣告が、一日として絶えたことなく、其上にかやうな整頓した目録まで發行せられるのは、實に國家の爲に深くよろこばしい事である。

更に戦後のことを考へて見るに、日本語で書いた内容の優秀なる著作が漸次多くなるであらう。外國語の著作が日本語に翻譯せられるものも多くなるであらう。但し世界の有名な文學の大部分が、日本語に翻譯せられてしまふには、幾何の年を要するであらうか。それはともかくも、日本の國家が盛になると共に、日本語の圖書が多くなり、良くなる。讀む人も多くなる。語がむづかしからうが。字が讀みにくからうが。外國人も

も日本語の著作を好んで讀むやうになる時、讀まねばならぬ時が來るであらう。

大正七年五月一日

### 赤堀又次郎述



## 緒言

由來圖書の選擇は極めて難事なり。萬卷の書を手にし、其れを悉く智囊の料たらしむる、誠に不可能の事に屬す。然れども其方法たる、群書中より目的とする圖書を索出する以外に途なし。此意味に於て圖書目錄は圖書索出の根柢をなすものたるに一人の異論者なかるべし。

我東京書籍商組合は、讀書家に對し、叙上の要望を満す目的を以て、明治二十六年始めて圖書總目錄を發行し、其後同三十一年に第二版を、同三十九年に第三版を、同四十四年に第四版を發行し、次で本年第五版を發行するに至れり。而して從來の内容は「いろは別」、「發行所別」、「類別」の三種なりしも、本書には新に「著作者別」を設け、又從來の「いろは順」を「五十音順」に更改排列し、四種別を以て一冊となせり。

本書に收載したる圖書數は約二萬種、此冊數實に三萬三千有餘冊の多



きに上れり、之を第四版に比較するに、種數に於ては増減少きも、冊數に於ては著しく増加を示せり。是れ要するに、近時所謂叢書・全書類激増したるの結果にして、其實數は前版の約二割を増收することを得たり。抑々一國文化の程度は、種々の標準に依つて相察し得べきも、之を圖書出版の上よりすること、大體に於て誤なかるべく、實に文明を表明する具象的資料としての圖書は、國家に偉大なる貢獻を捧ぐるものたるや疑を容れず。若夫れ、本書が讀書家と當業者との連鎖となり、多少の便益を與ふることを得ば、本組合の光榮も亦鮮少にあらざらん。乃ち茲に一言を叙す。

大正七年五月

東京書籍商組合組長 大倉保五郎

## 凡 例

一、本書は東京書籍商組合員の發行圖書を收載す。

一、本書内容は『五十音別』、『發行所別』、『類別』、『著作者別』の四種に別つ。

『五十音別』は書名の首音に依り、之を五十音順に排列したり、然れども頭書割書を冠したるものは、割書の首音に依らずして書名の首音に依れり。

例へば『問題幾何學辭典』の如き、之を『も』の部に編入せずして『き』の部に編入したるが如し。

新撰・増補・改正其他を冠せるものは、之を轉倒重出して索出に使せり。

例へば『新譯漢和大辭典』の如きは『し』の部に掲出し、更に『か』の部に『漢和大辭典(新譯)』と重出したるが如し。即ち『五十音別』に於て、書名の下部に( )を付しあるものは上下轉倒重出したるものと推知せらるべし。

『類別』は其書名に基き種類を別ち、五十音順に排列したるものなれば、中に或は種別に差異なきを保し難し。

『著作者別』は之を著作者氏名の五十音順に排列したりと雖も、頭字の同一なるものは同所に掲出したる。

其索引には氏名の外、更に雅號をも掲げ、氏名、雅號いづれにても容易に索出し得らるゝ様に使せり。然れども我國活字本として始めての試みなれば缺點多々あるは免れざるべし。

一、總て排列は簡便を圖り正確なる假名遣に依らず、發音を主としたり例へば『高等』は「かうとう」とせず



して「こうとう」とし、『往復』は「わうふく」とせずして「おうふく」としたるが如し。

一、『五十音別』、『類別』、『著作者別』等は『發行所別』に比し省略したるものあり、故に其細別を知らんとする場合は各行の最下部に番號を附しあるを以て、其番號と『發行所別』の番號とを對照せば省略したる個所の明細を知り得べし。

一、『五十音別』、『類別』、『著作者別』等は、偶々『發行所別』より明細に掲出したるものあり。

例へば『五十音別』に於て『數學叢書』中の『方程式』は『す』の部に『數學叢書』二十冊と掲出し、更に『ほ』の部に『方程式』(數學叢書第一編及第五編)と重出したるが如し。

『類別』に於ては『法制經濟概論』の如きは『法制』の部へ掲出し、更に『經濟』の部へも重出したたり。尙『つつじ』、もみぢ、さくら栽培法』の如きは『園藝(花卉栽培)』の『つつじ』、『もみぢ』、『さくら』の三個所へ重出したたり。

『著作者別』に於ては合著の場合、二人合著なれば二個所へ、五人の合著なれば五個所へ各同一のものを重出たり。

一、叢書・全集・文庫の如きは、其總括したる書名及明細を其部類に掲出す、此場合に於ては、書名の左側に括弧内に付記す、例へば『戰國策講義』(支那文學全集一八)の如し。

一、價格の記載方は發行所毎に慣例あり、定價・正價・特價・賣價・實價等の各種あるも、本書は其れ等を細別し能はざるを以て、總て定價として記載したり。

一、郵送料は第四種郵便物と小包の二種あり、然れども本書は單に郵税として内地の料金を掲載したり、且つ數冊のものは郵税を全部に計上したるものあれば實際とは多少減額するものあり。

一、本書編纂中に、定價に改正を加へられたるものあり、出來得る限は訂正を施したるも、尙現在と相異せるものなきにあらず、且つ組合員の住所は大正七年四月末日現在のものを掲げたるも、住所に異動を生じたるものなきにあらず、既に印刷を了したるものは訂正する能はず。

一、本書中、活字の誤植、排列の相異、其他の誤謬なきを保し難し、請ふ之を諒せられよ。

大正七年五月

編纂者識



五  
十  
音  
別



五 十 音 別 索 引

あ	い	う	え	を、お	か	き	く	け	こ	さ	し
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
一頁	九	三	六	四	五	九	三	三〇	四九	八五	二五

す	せ	そ	ち	つ	て	と	ね	に	ぬ	ね
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
三二	三七	三四	三五	三七	三九	四一	四三	四三	四六	四七

五十音別索引



















書	著者	著譯者	冊	定價	郵税	發行所	番號
アラビヤンナイト	大盛堂編輯部	大盛堂編輯部	一	〇、〇六	〇、〇三	大盛堂	二〇〇
繪アラビヤンナイト	怒濤庵主人	怒濤庵主人	一	〇、〇三	〇、〇三	芳屋	七〇
新アラビヤンナイト	中村徳助	中村徳助	一	〇、〇三	〇、〇三	華堂	七〇
全アラビヤンナイト	木間久	木間久	一	二、五〇	〇、三〇	東亞堂	六〇
英文アラビヤンナイト	片山寛	片山寛	一	〇、五〇	〇、八〇	上田屋	五〇
新解アラビヤンナイト	杉谷代水	杉谷代水	二	四、〇〇	〇、四〇	富山房	九〇
挿話アラビヤンナイト	少年通俗教育會	少年通俗教育會	一	〇、四〇	〇、四〇	博文館	一九九
アラビヤンナイト物語	少年通俗教育會	少年通俗教育會	一	〇、四〇	〇、四〇	博文館	一九九
荒鷲の爪痕	江見水陸	江見水陸	一	〇、三〇	〇、三〇	嵩山堂	七〇
アリス物語	永代静雄	永代静雄	一	〇、五〇	〇、六〇	淡海堂	七〇
ありべかゝり	赤堀又次郎	赤堀又次郎	一	〇、五〇	〇、六〇	博文館	八〇
ある青年の夢	武者小路實篤	武者小路實篤	一	一、〇〇	〇、九〇	陽堂	三〇
アルガス立體解析幾何學	長澤龜之助	長澤龜之助	一	一、二〇	〇、九〇	山海堂	五〇
アルミニウム	結城林蔵	結城林蔵	一	一、二〇	〇、九〇	博文館	六〇
工業アルミニウム製造法	田中孫六	田中孫六	一	〇、七〇	〇、八〇	博文館	六〇
體操	白井規矩郎	白井規矩郎	一	〇、七〇	〇、八〇	十字屋	三〇
天歴	幸田成友	幸田成友	一	〇、七〇	〇、八〇	博文館	三〇
大王アレクサンドル	水尾範治	水尾範治	一	〇、四〇	〇、六〇	實業日本社	八七
按 摩 術 (業氏)	長瀬時衛	長瀬時衛	一	〇、五〇	〇、六〇	文錦堂	一〇
按 摩 術 指南 (精圖入)	久木田七郎	久木田七郎	一	一、三〇	〇、九〇	誠之堂	一〇
訂 按 摩 鍼灸學	奥村三策	奥村三策	一	一、七〇	〇、九〇	誠之堂	一〇
按 摩 新 論 (業氏)	足立寛	足立寛	一	〇、七〇	〇、八〇	文錦堂	二〇
安 眠 法	門脇眞技	門脇眞技	一	〇、五〇	〇、六〇	博文館	八元
安 眠 法	文庫博士	文庫博士	一	〇、五〇	〇、六〇	博文館	八元
安 夜 強 行 登 山	押川春浪	押川春浪	一	〇、三〇	〇、三〇	大盛堂	九
怪 談 暗 夜 の 怪 艇	東 天 鬼	東 天 鬼	一	〇、三〇	〇、三〇	大盛堂	七
奇 談 暗 夜 の 怪 艇	村 上 啓 八	村 上 啓 八	一	一、〇〇	〇、九〇	大盛堂	七
安 樂 育 蠶 法 全 書 (最新)	近 藤 近 次 郎	近 藤 近 次 郎	一	〇、九〇	〇、九〇	山 舍	六
安 樂 飼 之 奧 義 (改良)	近 藤 近 次 郎	近 藤 近 次 郎	一	〇、九〇	〇、九〇	山 舍	六
安 樂 傳 授 (其他)	赤 堀 又 次 郎	赤 堀 又 次 郎	一	〇、五〇	〇、六〇	博文館	八三

書	著者	著譯者	冊	定價	郵税	發行所	番號
安息日と家庭及宗教の實際	鶴崎庚午郎	鶴崎庚午郎	一	〇、三〇	〇、三〇	教文館	八八
本論して實際の守法に及ぶ	近藤敏三郎	近藤敏三郎	一	一、〇〇	〇、三〇	有斐閣	三〇
新譯 文アンソン契約法	少年通俗教育會	少年通俗教育會	一	〇、四〇	〇、四〇	博文館	八八
新譯 文アンソン契約法	少年通俗教育會	少年通俗教育會	一	〇、四〇	〇、四〇	博文館	八八
アンダアセン物語	都築甚之助	都築甚之助	一	一、五〇	〇、八〇	南江堂	一五〇
アンチペリベリン療法	文庫博士	文庫博士	一	一、〇〇	〇、八〇	南江堂	一五〇
アントニーとクレオパトラ	坪内逍遙	坪内逍遙	一	一、〇〇	〇、八〇	早稲田大學出版部	一五〇
安得仙家庭物語	文庫博士	文庫博士	一	一、〇〇	〇、八〇	早稲田大學出版部	一五〇
浪花安中草三郎	上田萬年	上田萬年	一	一、五〇	〇、三〇	美華堂	二〇
ふし安中草三郎	監甲齊虎丸	監甲齊虎丸	一	〇、八〇	〇、八〇	芳屋	二〇
脚アンナ、カレニナ	トルストイ	トルストイ	一	〇、七〇	〇、八〇	新潮社	三〇
本アンナ、カレニナ	松居松葉譯	松居松葉譯	一	〇、七〇	〇、八〇	新潮社	三〇
トルスアンナ、カレニナ	相馬御風	相馬御風	一	三、〇〇	〇、六〇	早稲田大學出版部	三〇
トイ作	相馬御風	相馬御風	一	三、〇〇	〇、六〇	早稲田大學出版部	三〇
安 本 丹 (其他)	先生	先生	一	〇、六〇	〇、六〇	博文館	一九四

い

書	著者	著譯者	冊	定價	郵税	發行所	番號
井伊掃部守	巖谷小波	巖谷小波	一	一、七〇	〇、四〇	博文館	二〇四
井伊大老と開港	中村勝麿	中村勝麿	一	一、三〇	〇、四〇	啓成社	三三
イエスの倫理	加藤直士譯	加藤直士譯	一	一、〇〇	〇、〇〇	警醒社	三三
イエスは救の道なり	ブランド	ブランド	一	一、〇〇	〇、〇〇	教文館	二八

あんそ—イエス















































書名	著者	冊数	定価	郵税	発行所	番號
英語用法の誤り	高野 巽	一	三〇	三	尚榮堂	三六
英語力の基礎	住友彦太郎	一	六〇	六	博育堂	三三
英語朗讀法	エリオット	一	三〇	三	文教館	三八
穎才教育	乙竹岩造	一	一〇〇	一〇	三目黒書店	三六
西禪師	水宮泰彦	一	一〇〇	一〇	丙午出版社	三三
英(新カド式参考書)文	研究社編輯局	一	三〇	三	研究社	一
英作文教科書	井上十吉	一	八〇	八	誠美堂	三九
英作文教科書	木村重治	一	八〇	八	誠美堂	三九
英作文教科書	佐々木文美	一	三〇	三	有朋堂	二五
英作文教科書	山崎 貞	一	八〇	八	日進堂	二四
自修英作文研究	長岡 擴	一	一〇〇	一〇	三三松堂	二四
商業英作文教科書	元木貞雄	一	一〇〇	一〇	文盛堂	二四
中英作文自修捷徑	ミルマン	一	四〇	四	三三松堂	二四
新式英作文ト會話	木多孝一	一	五〇	五	有朋堂	二五
入學試験英作文獨修書	鷺見龜五郎	一	六〇	六	東華堂	二六
問題應用英作文獨修書	越山正一	一	六〇	六	東華堂	二六
英作文のをしへ	元田作之進	一	六〇	六	博文館	二七
英作文の研究	吉田幾次郎	一	六〇	六	博文館	二七
英作文の講話		一	六〇	六	博文館	二七

書名	著者	冊数	定価	郵税	発行所	番號
永日	尾上八郎	一	八〇	八	弘道館	一〇
衛戍病院服務規則	陸軍省	一	一〇	一	兵用圖書	一〇
衛戍病院服務規則ノ説明	陸軍省	一	一〇	一	兵用圖書	一〇
衛生一夕話	橋本善次郎	一	五〇	五	富山房	二七
家庭衛生醫典	越澤過滿	一	一五〇	一五	大倉書店	二七
難科衛生解説(其他)	河南休男	一	五〇	五	博文館	二七
衛生(中等教科解説ノ九)	須田隆三郎	一	五〇	五	博文館	二七
衛生(特製、六五税、一〇)	遠山椿吉	一	三〇	三	金原書店	二七
衛生學講義	藤永	一	三〇	三	富山堂	二七
近世醫學叢書 附通俗救急法	醫學博士 村手千代之助	一	五〇	五	富山堂	二七
衛生學	山田 董	一	八〇	八	三南江堂	二七
衛生學問答	軍需商會	一	一〇〇	一〇	三三館	二七
衛生健康地案内	賣文社編輯局	一	七〇	七	新橋堂	二七
衛生工學	大沼文哉	一	一〇〇	一〇	誠美堂	二七
最近衛生講話材料	關以雄	一	一〇〇	一〇	誠美堂	二七
家庭衛生顧問	大木省吾	一	六〇	六	大川屋	二七
衛生十二ヶ月	樫田十次郎	一	三〇	三	實業日本社	二七
衛生示教掛圖(最新)	衛生示教掛圖	一	四〇	四	東京造書館	二六
衛生試驗法	小山 哉	一	五〇	五	九南江堂	二七
衛生試驗法	小山 哉	一	五〇	五	九南江堂	二七
衛生室内運動	保利 聯	一	三〇	三	金原書店	二七
衛生事務必携	小池金之助	一	四〇	四	誠美堂	二七
衛生辭林	關以雄	一	一〇〇	一〇	誠美堂	二七
衛生新編	中津東一郎	一	六〇	六	三南江堂	二七
衛生新報	森林太郎	一	一五〇	一五	三南江堂	二七
衛生(新)衣食住	美島近一郎	一	五〇	五	啓成社	二七
衛生(家庭百科全書ノ三)	福田琴月	一	五〇	五	博文館	二七
衛生(國民百科全書ノ三)	關以雄	一	五〇	五	博文館	二七
衛生(教育百科全書ノ三)	關以雄	一	五〇	五	博文館	二七
衛生(教訓繪はなしノ二)	武田小櫻桃	一	三〇	三	三國民書院	二七
衛生(諸病急用)	佐々木多聞	一	三〇	三	三國民書院	二七
衛生(名醫者の來るまで)	竹中盛憲	一	七〇	七	誠美堂	二七
衛生(家庭衛生マツサツ法)	奥村三策	一	五〇	五	誠美堂	二七
衛生類典	警眼社編輯部	一	一〇〇	一〇	警眼社	二七
衛生上製(二〇)	田丸卓郎	一	六〇	六	警眼社	二七







書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
英文法講義(實用)	若月保治	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
增訂英文法講義	鈴木博士	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法講義	星野久成	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法講義	石井清三郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法十講	増田藤之助	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法自修捷徑	元木貞雄	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法實習書	佐川春水	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法實習書	入江祝衛	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法辭典	本位英	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法受驗要領	赤多孝一	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法詳解	吉田 潔	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法捷徑	中等英語研會	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法捷徑	中等英語研會	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法初歩	中等英語研會	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法新話形容詞篇	吉田幾太郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法新話代名詞篇	吉田幾太郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法新話名詞篇	吉田幾太郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法摘要	佐川春水	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文法手ほどき	A B C 記者	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇

書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
英文和譯公式	高野 巽	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文和譯受驗準備	篠原新次郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文和譯獨習	花輪虎太郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
問題英文和譯ノ一ト	前田元敏	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
詳解英文和譯ノ一ト	前田元敏	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
試驗英文和譯之部	瀨川克三	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文和譯法	南日恒太郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文和譯問題集	早稻田英語會	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
最新英文和譯問題集	元木貞雄	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文和譯英文英譯法	佐伯好郎	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
英文倫敦の一年	伊知地純正	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
冠導永平學道用心集	町元吞宗	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
冠註永平家訓綱要	翼 龍 童	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
冠註永平假名法語	承陽大師	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
永平悟由禪師法話集	峯 玄 光	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
永平寺眞景	町元吞空	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
註永平衆寮清規	町元吞空	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
註永平衆寮清規校本	大内青巒	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
註永平衆寮清規校本	大内青巒	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇
傍註永平大清規	町元吞空	一	一、五〇	〇、八日	進堂	〇〇







書名	著者	冊数	定価	郵税	発行所	番號
益軒十訓(上)	大町桂月	一	三〇	〇	誠堂	三〇
益軒十訓(中)	大町桂月	一	三〇	〇	誠堂	三一
益軒十訓(下)	大町桂月	一	三〇	〇	誠堂	三二
益軒全集	益軒會	八	二五〇	〇	隆文館	三三
益軒文鈔	光風館編輯所	一	三〇	〇	光風館	三四
易占及骨相法	博文館編輯局	一	三〇	〇	博文館	三五
易占的中秘法	富本長洲	一	三〇	〇	博文館	三六
通益蟲保護利用法	高橋 獎	一	三〇	〇	博文館	三七
易道詳傳	柄澤照登	一	一〇〇	〇	永樂堂	三八
易道早學	新井白蟻	一	二〇	〇	當山堂	三九
易の原理及占筮	遠藤隆吉	一	一五〇	〇	三明誠館	四〇
易の原理と其應用	細貝正邦	一	二〇〇	〇	實業日本社	四一
小曆八萬石	渡邊默禪	一	六〇	〇	大川屋	四二
エグモ	小池秋草	一	六〇	〇	南江堂	四三
エシツクスオプワクス	鍾美堂編輯部	一	三〇	〇	鍾美堂	四四
埃及藝術圖解(一)	建築と裝飾社	一	一七〇	〇	南北社	四五
埃及藝術圖解(二)	建築と裝飾社	一	一七〇	〇	南北社	四六

書名	著者	冊数	定価	郵税	発行所	番號
越後獅子(琴)	川本逸童	一	三〇	〇	家庭音楽院	四七
エチモロシ	イシナリ	一	五〇	〇	尙榮堂	四八
エツキス光線	西川正治	一	一三〇	〇	若波書店	四九
悦目抄(其他)	佐々木信綱	一	三〇	〇	老鶴園	五〇
悦目抄(日本歌學全書)	幸田露伴	一	三〇	〇	至誠堂	五一
エデンの花園	山田寅之助	一	三〇	〇	教文館	五二
江戸一代女	林 和	一	七〇	〇	春陽堂	五三
江戸俠客物語	林 和	一	七〇	〇	春陽堂	五四
江戸季世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	實業日本社	五五
徳川江戸三十六城門(和文)	幕府江戸三十六城門(和文)	一	一六〇	〇	早稲田大學出版部	五六
文庫江戸作者淨瑠璃集	幕府江戸作者淨瑠璃集	一	一六〇	〇	早稲田大學出版部	五七
江戸時代人物書譜	山本昇雲	一	一三〇	〇	東陽堂	五八
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	東陽堂	五九
歴史江戸	大倉桃郎	一	九〇	〇	同文館	六〇
江戸情調と悪の讚美	高須梅溪	一	三〇	〇	岡村書店	六一
江戸衰亡編	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六二
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六三
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六四
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六五
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六六
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六七
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六八
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	六九
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七〇
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七一
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七二
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七三
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七四
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七五
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七六
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七七
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七八
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	七九
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八〇
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八一
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八二
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八三
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八四
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八五
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八六
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八七
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八八
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	八九
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九〇
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九一
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九二
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九三
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九四
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九五
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九六
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九七
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九八
江戸中世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	九九
江戸初世編(其他)	吉田東伍	一	一三〇	〇	早稲田大學出版部	一〇〇



























































書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
架橋教範	陸軍省	二	三、〇〇	〇	兵用圖書株式會社	三
歌曲の花園	若菜家胡蝶	一	三、〇〇	〇	松陽堂	元
歌曲名作集	中川愛水	一	三、〇〇	〇	いろは書房	二
尋常夏期練習帳	教育研究會	六	一、八〇	〇	美堂	二〇
高等夏期練習帳	教育研究會	三	一、八〇	〇	美堂	二〇
家禽飼養全書	月田藤三郎	一	五、〇〇	〇	博文館	五
家禽飼養法要略	上田定次郎	一	五、〇〇	〇	博文館	五
家禽人工肥滿法	農商務省	一	三、〇〇	〇	有隣堂	三〇
家禽審査法	井關十二郎	一	五、〇〇	〇	有隣堂	三〇
家禽圖譜	釘木昌二	一	一、〇〇	〇	明文堂	三三
訂正家禽病理書	石崎芳吉	一	三、〇〇	〇	成美堂	六
增補家禽病理書	津野慶太郎	一	三、〇〇	〇	有隣堂	三〇
架空電線路建築一班	中村 抗	一	一、〇〇	〇	博文館	五
學海畫夢	若目田利助	一	三、〇〇	〇	三建築書院	八
尋常各科教授細目	依田百川	二	五、〇〇	〇	廣文堂	五
高等各科教授細目	青島師範學校	四	五、〇〇	〇	廣文堂	五
小學各科教授細目	青島師範學校	三	三、〇〇	〇	廣文堂	四

書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
學校衛生講話材料	關以雄	一	一、五〇	〇	三陽堂	七
學校園の經營	松田良藏	一	一、〇〇	〇	老鶴園	五
學校園の實際	鳥取萬次郎	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校園の内容	竹島茂郎	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校管理法	佐々木祐太郎	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校管理法提要	竹内喜之助	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
中等學校管理法問答	山本盛太郎	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校儀式要鑑	島田民治	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校教育	外田幸憲	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校教育	相島龜三郎	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校教育	每月一回發行	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校教育	小西重直	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校教育	原田義藏	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校教育	守田喜一郎	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校體操教授要目	明治音樂會	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五
學校體操教授要目	文部省	一	一、〇〇	〇	廣文堂	五



















(か) かつけ—かてい

書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
脚氣之病理	三浦守治	一	二、四〇	三	南江堂	二五
脚氣豫防法と治療法	道山椿吉	一	三、〇〇	三	廣文堂	三〇
活才術	中原鄧州	一	三、〇〇	三	實業日本社	三〇
話修養	前田慧雲	一	一、〇〇	〇	誠堂	二六
活修養と處世遺路	大畑裕	一	〇、八〇	〇	光閣	二六
西洋合掌組立詳細圖	荒船市五郎	一	〇、三〇	〇	松成堂	二五
活水死水	巖谷小波	一	一、〇〇	〇	博文館	二五
甲胃(世界に加へる)	松平樂翁	一	三、〇〇	三	東陽堂	二五
甲胃(集古十種ノ内第二卷)	松平樂翁	一	一、〇〇	〇	東陽堂	二五
甲胃(武器圖解)	神木鷗津	一	一、〇〇	〇	東京造書館	二五
問答華棹尺牘	權田保之助	一	一、〇〇	〇	善園	二五
通俗學藝叢一活動寫眞の原書第二編—理及應用	權田保之助	一	一、〇〇	〇	善園	二五
活動新ポンチ	またた	一	〇、八〇	〇	大洋堂	二四
活版(其他)	石井研堂	一	一、八〇	〇	博文館	二四
活版(營業開始案内ノ六)	石井研堂	一	一、七〇	〇	博文館	二四
活版(少年工藝文庫ノ八)	井上圓了	一	一、〇〇	〇	丙午出版社	二四
活佛	井上圓了	一	一、〇〇	〇	丙午出版社	二四
和洋割烹辭典	割烹研究会	一	一、〇〇	〇	警醒社	二四
割烹新書	嘉悦孝子	一	〇、八〇	〇	隆文館	二四

八〇

五 十 五

書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
家庭園藝實驗談	磯部鏡	一	一、三〇	三	新橋堂	二六
家庭園藝博士	晴耕園	一	〇、四〇	〇	廣文堂	二七
家庭お伽噺	和田垣謙三	一	一、七〇	〇	獨立閣	二七
△原著△家庭お伽噺	星野久成	一	〇、六〇	〇	尚榮堂	二七
家庭及家庭教育	高島平三郎	一	一、〇〇	〇	洛陽堂	二七
家庭及教育(上製)	日本濟美會	一	三、五〇	三	東海堂	二七
家庭改良と家庭教育(特製)	日本濟美會	一	五、五〇	五	東海堂	二七
家庭看病法	佐々木吉三郎	一	一、六〇	〇	三日黒書店	二七
家庭救急療法	大關和子	一	〇、八〇	〇	日進堂	二七
家庭救急療法(一名醫者の来るまで)	入澤達吉	一	〇、二〇	〇	民友社	二七
家庭(一名醫者の来るまで)	入澤達吉	一	〇、二〇	〇	民友社	二七
家庭(家庭文庫ノ一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ二九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ三九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ四九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ五九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ六九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ七九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ八九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九一)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九二)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九三)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九四)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九五)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九六)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九七)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九八)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ九九)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七
家庭(家庭文庫ノ一〇〇)	婦人文庫刊行會	一	一、〇〇	〇	南北社	二七

(か) かつけ—かてい

八〇































































書名	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
行書三館帖	米元章	一	、六〇	、八	山堂	九二
行書山清帖	米元章	一	、六〇	、八	山堂	九三
行書山靜帖	董其昌	一	、六〇	、八	山堂	九四
行書舟中帖	米元章	一	、五〇	、八	山堂	九五
行書酒瓢帖	貫名菴翁	一	、五〇	、八	山堂	九六
行書春餘帖	米元章	一	、五〇	、八	山堂	九七
行書書簡文	長三洲	一	、四〇	、八	山堂	九八
行書新夢帖	趙子昂	一	、四〇	、八	山堂	九九
行書赤壁賦	蘇東坡	一	、三〇	、八	山堂	一〇〇
行書雪後帖	文徵明	一	、三〇	、八	山堂	一〇一
行書千字文	小野鷲堂	一	、三〇	、八	山堂	一〇二
行書千字文	王羲之	一	、三〇	、八	山堂	一〇三
行書千字文	湯川梧窓	一	、三〇	、八	山堂	一〇四
行書千字文	文徵明	一	、三〇	、八	山堂	一〇五
行書千字文	李雲海	一	、三〇	、八	山堂	一〇六
行書竹樓記	文徵明	一	、三〇	、八	山堂	一〇七
行書手紙字書	佐藤梅圃	一	、三〇	、八	大倉書店	一〇八
行書天冠山詩	趙子昂	一	、六〇	、八	山堂	一〇九
行書唐詩帖	小野鷲堂	一	、五〇	、八	山堂	一一〇
行書唐詩帖	卷夔湖	一	、五〇	、八	山堂	一一一
行書讀書樂	文徵明	一	、四〇	、八	山堂	一一二
行書讀書樂	文徵明	一	、四〇	、八	山堂	一一三
行書讀書の手紙文	大町桂石	一	、三〇	、八	山堂	一一四
行書盤谷帖	趙子昂	一	、三〇	、八	山堂	一一五
行書明河帖	文徵明	一	、三〇	、八	山堂	一一六
行書明妃典	文徵明	一	、三〇	、八	山堂	一一七
行書名勝詩帖	長三洲	一	、三〇	、八	山堂	一一八
行書樂志論	董其昌	一	、三〇	、八	山堂	一一九
行書蘭亭記	王羲之	一	、三〇	、八	山堂	一二〇
行書類纂	關漢南	一	、三〇	、八	山堂	一二一
行政裁判法論	小林魁郎	一	、三〇	、八	博文館	一二二
行政執行法治安警察法講義	板倉松太郎	一	、三〇	、八	博文館	一二三
行政執行法治安警察法講義	有松英義	一	、三〇	、八	博文館	一二四
行政執行法治安警察法講義	小原新三	一	、三〇	、八	博文館	一二五

書名	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
增訂行政法原理	市村光惠	一	、四〇〇	、六	博文館	一
行政法講義	法澤博士	一	、三〇〇	、六	博文館	二
行政法講義	法澤博士	一	、三〇〇	、六	博文館	三
行政法大綱	野村信孝	一	、一五〇	、三	有斐閣	四
行政法汎論	小原新三	一	、一五〇	、三	有斐閣	五
行政法汎論	山田博次郎	一	、一五〇	、三	有斐閣	六
行政法汎論	山田博次郎	一	、一五〇	、三	有斐閣	七
行政法汎論	島村他三郎	一	、一五〇	、三	有斐閣	八
行政法汎論	貫名菴翁	一	、一五〇	、三	有斐閣	九
行政法汎論	田中三省	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇
行政法汎論	竹貫佳水	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一
行政法汎論	渡邊約山	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二
行政法汎論	荒知もこ	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	二九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	三九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	四九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	五九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	六九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	七九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	八九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	九九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一〇九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一一九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一二九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三三
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三四
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三五
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三六
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三七
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三八
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一三九
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一四〇
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一四一
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一四二
行政法汎論	天	一	、一五〇	、三	有斐閣	一四三
行政法汎論	天	一	、一五〇			



書	著者	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
清川八郎遺著	山路彌吉	山路彌吉	一	一、八〇	三	民友社	三〇
魚 鑑	武井周作	武井周作	二	一、四〇	四	有隣堂	四九
聖き生涯	生江米子	生江米子	一	一、〇〇	三	教文館	五九
玉章書集(古稀號)	小林鶯里	小林鶯里	一	一、三〇	四	國文學同志會	六〇
玉章書集(古稀號)	川端玉雪	川端玉雪	一	一、〇〇	三	報社	六一
局所癩痺法	喜多村敬三郎	喜多村敬三郎	一	一、五〇	四	南江堂	六二
用曲線測量必携	原田 碧	原田 碧	一	一、三〇	三	建築書院	六三
用曲線測量必携	毛利元照	毛利元照	一	一、三〇	三	大倉書店	六四
初等極大極小問題	林 鶴一	林 鶴一	一	一、六〇	三	大倉書店	六五
魚具調味法集	池内猪三郎	池内猪三郎	一	一、三〇	三	有隣堂	六六
曲亭遺墨	馬琴、羅文	馬琴、羅文	一	一、八〇	四	朝陽舎	六七
曲亭馬琴美辭名句集	饗庭莖村	饗庭莖村	一	一、七〇	四	博文館	六八
極東近時外交史	寶文社編輯局	寶文社編輯局	一	三、〇〇	三	早稻田大學出版部	六九
玉版洛神十三行帖	巽米次郎	巽米次郎	一	三、〇〇	三	西東書房	七〇
漁舟の基督	ツヨイス	ツヨイス	一	一、〇五	三	教文館	七一
虛字解	皆川棋園	皆川棋園	一	一、五〇	四	文陽堂	七二
魚鳥家畜の飼養	鹿野化骨	鹿野化骨	一	一、五〇	三	博文館	七三
漁隊之遠征	山田美妙	山田美妙	一	一、三〇	三	大倉書店	七四
御製神訓謹解	伊藤泰歳	伊藤泰歳	一	一、〇〇	三	朝野書店	七五
御製神訓謹解	池邊義象	池邊義象	一	一、〇〇	三	朝野書店	七六
御製神訓謹解	中村春堂	中村春堂	一	一、〇〇	三	朝野書店	七七
御製神訓謹解	柳澤銀藏	柳澤銀藏	一	一、〇〇	三	朝野書店	七八
御製神訓謹解	宿利冬湖	宿利冬湖	一	一、〇〇	三	朝野書店	七九
御製神訓謹解	今泉眞幸	今泉眞幸	一	一、〇〇	三	朝野書店	八〇
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八一
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八二
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八三
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八四
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八五
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八六
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八七
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八八
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	八九
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九〇
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九一
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九二
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九三
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九四
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九五
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九六
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九七
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九八
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	九九
御製神訓謹解	高濱虚子	高濱虚子	一	一、〇〇	三	朝野書店	一〇〇

書	著者	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
清元集附富本	海賀變哲	海賀變哲	一	一、五〇	三	博文館	一〇一
清元集	井口菊奴	井口菊奴	一	一、〇〇	三	法木書店	一〇二
魚油蠟	町田櫻園	町田櫻園	一	一、〇〇	三	盛林堂	一〇三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一〇四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一〇五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一〇六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一〇七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一〇八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一〇九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一一九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一二九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一三九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一四九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一五九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一六九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一七九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一八九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九四
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九五
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九六
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九七
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九八
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	一九九
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	二〇〇
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	二〇一
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	二〇二
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇〇	三	有隣堂	二〇三
魚類査定法	藤田經信	藤田經信	一	一、〇			



書名	著者	著譯者	冊数	定價	郵税	發行所	番號
キリストの人生	柏井園	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
キリストの教訓及人格	柏井園	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
キリストの聖訓	宮野虎一	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
キリストの徒の思想	富永徳磨	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
キリストの復活	スプシグ	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
義理づくめ上下	篠原嶺葉	田中達	二	一、二〇	〇	博文館	五〇
切抜活動おもちゃ	森田太三郎	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
キリスト細工	鈴木江南	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
解キリスキ十二月	鈴木江南	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
切抜帖	夏目漱石	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
霧の雨	鈴木三重吉	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
霧の王國	吉江孤雁	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
霧の王國へ	別所梅之助	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
桐野利秋	春山育太郎	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
歌桐の秋	北原國松	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
雅希伯來、雅客講	大宮季貞	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
彼得前後、猶太講	大宮季貞	田中達	一	一、二〇	〇	博文館	五〇
キリストの人生	坪内逍遙	加藤直士	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの教訓	江見水陸	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの聖訓	中原鄧州	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの徒の思想	市川忠一	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの復活	武島羽衣	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
義理づくめ	大島天月	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
切抜活動	久保天月	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリスト細工	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
解キリスキ	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
切抜帖	東家樂遊	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の雨	大橋微笑	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の王國	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の王國へ	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
桐野利秋	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
歌桐の秋	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
雅希伯來、雅客講	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
彼得前後、猶太講	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇

書名	著者	著譯者	冊数	定價	郵税	發行所	番號
キリストの人生	坪内逍遙	加藤直士	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの教訓	江見水陸	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの聖訓	中原鄧州	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの徒の思想	市川忠一	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの復活	武島羽衣	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
義理づくめ	大島天月	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
切抜活動	久保天月	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリスト細工	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
解キリスキ	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
切抜帖	東家樂遊	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の雨	大橋微笑	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の王國	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の王國へ	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
桐野利秋	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
歌桐の秋	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
雅希伯來、雅客講	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
彼得前後、猶太講	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの人生	坪内逍遙	加藤直士	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの教訓	江見水陸	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの聖訓	中原鄧州	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの徒の思想	市川忠一	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリストの復活	武島羽衣	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
義理づくめ	大島天月	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
切抜活動	久保天月	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
キリスト細工	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
解キリスキ	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
切抜帖	東家樂遊	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の雨	大橋微笑	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の王國	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
霧の王國へ	佐々木信綱	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
桐野利秋	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
歌桐の秋	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
雅希伯來、雅客講	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇
彼得前後、猶太講	山田友親	田中達	一	一、二〇	〇	警文館	五〇

（キ）キリスト—キリスト

一一七







































書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
最近教育學界の二大思想	湯原元一	一	一、三〇	八	目黒書店	二〇三
女子教育學教科書	石川弘	一	七〇	八	光風館	一〇三
ライの教育學原理	湯本武比古	一	五〇	八	山海堂	一〇五
教育學講義	村上辰五郎	一	五〇	八	芳流堂	一〇六
教育學講義	齋藤鹿三郎	一	三〇	四	嵩山堂	一〇八
訂數教育學講義	大瀨甚太郎	一	一、〇〇	三	成美堂	一〇九
小學校教員檢定受驗用教育學講義	教育研究會	一	一、〇〇	六	豐館	一一〇
教育學精義	森岡常藏	一	二、〇〇	三	同文館	一一一
教育學大要	橋本文壽野	一	七〇	八	山海堂	一一二
教育學要義	松本孝次郎	一	五〇	八	啓成社	一一三
教育學要覽	大元茂一郎	一	三〇	四	目黒書店	一一四
自働教育革新の根柢	自働教育研究會	一	七〇	八	誠誠館	一一五
教育科教科書	竹内喜之助	一	四、七〇	五	啓成社	一一六
教育科教科書	山本盛太郎	一	五、〇〇	八	目黒書店	一一七
教育家智叢	波多野俊夫	一	五〇	八	目黒書店	一一八
教育行政及行政法	織田萬	一	一、八〇	六	富山房	一一九
教育行政研究	建部遜吾	一	二、七〇	六	金山港堂	一二〇

書名	著者	冊	定價	郵税	發行所	番號
教育者の覺醒と其修養	三澤紳	一	七〇	六	啓成社	一〇一
教育者の家庭	加藤末吉	一	八〇	八	長明堂	一〇二
教育者の人格修養	大村仁太郎	一	八〇	八	同文館	一〇三
教育唱歌(新)	中島力造	一	八〇	八	目黒書店	一〇四
教育小言	小出雷吉	一	五〇	四	十字屋	一〇五
教育史要覽	德富猪一郎	一	五〇	三	氏友社	一〇六
教育史要覽	大元茂一郎	一	三〇	四	目黒書店	一〇七
教育心理學講義	福來友吉	一	一、三〇	二	弘道館	一〇八
訂數教育大意	河野清丸	一	一、〇〇	八	目黒書店	一〇九
文檢教育大意	明治教育社	一	一、〇〇	八	同館	一一〇
乃木大将教育勅語正義	弘道會青年部	一	三〇	三	同文館	一一一
教育勅語通解	猪飼香石	一	八〇	六	金港堂	一一二
教育勅語帖(習字用)	森本角藏	一	八〇	六	大江書房	一一三
撰教育勅語讀本	寶文館編輯所	一	三〇	六	寶文館	一一四
教育勅語と宗教	龜谷天尊	一	三〇	六	隆文館	一一五
教育勅語戊申詔書藤本	秋吉無聲	一	五〇	三	山口屋	一一六

けういけうい



書名	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
大正教育年鑑	澤柳政太郎	一	一、〇〇	〇、〇〇	山房	七
教育の經濟的基礎	池上友一	一	一、〇〇	〇、〇〇	目黒書店	六
モントペツ教育の原理及ソリイ女史教育の實際	今西嘉藏	一	〇、八〇	〇、〇〇	大同館	五
教育の實際	教育實際社	一	一、二五	〇、〇〇	實文館	四
教育の生理的基礎	塚原政治	一	一、〇〇	〇、〇〇	弘學館	三
教育の力	尺秀三郎	一	〇、七〇	〇、〇〇	圖書會社	二
教育病理學	三宅、吳、富士川	一	一、〇〇	〇、〇〇	同文館	一
教育病理治療學	野村、加藤、氏原、加藤、氏原、加藤	一	一、〇〇	〇、〇〇	同文館	一
教育科教科書	竹内喜之助	一	一、〇〇	〇、〇〇	同文館	一
教育科教科書	山本盛太郎	一	〇、七〇	〇、〇〇	成社	一
教育法と其應用	河野清丸	一	一、〇〇	〇、〇〇	北文館	一
新教育叢書	高木敏雄	一	一、〇〇	〇、〇〇	同文館	一
教育要覽叢書	大元茂一郎	一	一、〇〇	〇、〇〇	文館	一
教育類典	警眼社編輯部	一	一、〇〇	〇、〇〇	警眼社	一
教育檢定受驗案內	佐藤鐘太郎	一	〇、六〇	〇、〇〇	東華堂	一
附最近五年間檢定問題集	沼田笠峯	一	〇、八〇	〇、〇〇	同文館	一
教育會史	ラルネテ	一	一、〇〇	〇、〇〇	警眼社	一

書名	著譯者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
教室用會話	津輕純夫	一	一、二五	〇、〇〇	光閣	六
教授及參觀要訣	松下友一	一	一、〇〇	〇、〇〇	廣文堂	五
中等教育學問答	山松鶴吉	一	一、〇〇	〇、〇〇	同文館	四
小學校教授管理訓練の新潮	相島龜三郎	一	一、〇〇	〇、〇〇	同文館	三
教授訓練の革新	下平末藏	一	〇、八〇	〇、〇〇	同文館	二
東京女學高等師範一教	東京女子高等師範學校附屬小學校	一	一、〇〇	〇、〇〇	實文館	一
新編教授資料	湯本武比古	一	〇、四〇	〇、〇〇	山海堂	一
讀本教授資料	小山左文二	一	〇、三〇	〇、〇〇	松堂	一
教授中の訓育	川上新之助	一	一、五〇	〇、〇〇	日黒書店	一
尋常小教授提要	福井直秋	一	一、〇〇	〇、〇〇	共益商社	一
尋常小教授日案	通教育研究會	一	八、〇〇	〇、〇〇	美堂	一
教授の段階に關する研究	榎山榮次	一	〇、六〇	〇、〇〇	日黒書店	一
實用教授法	齋藤龜三郎	一	一、〇〇	〇、〇〇	山海堂	一
教授法(複式)	根本廣野	一	一、〇〇	〇、〇〇	山海堂	一
教授法(新)	岡千賀衛	一	一、〇〇	〇、〇〇	日黒書店	一
教授法(新)	乙竹岩造	一	一、〇〇	〇、〇〇	日黒書店	一
自學教授法(新)	岡千賀衛	一	一、〇〇	〇、〇〇	道館	一
補導教授法(新)	齋藤龜三郎	一	一、〇〇	〇、〇〇	山海堂	一
新教授法各論	齋藤龜三郎	一	一、〇〇	〇、〇〇	山海堂	一



































書名	著者	冊数	定價	郵税	發行所	番號
縮向 上 論	南條文雄	一	一、四〇	〇	東亞堂	四〇
廣初等代數學	根津千治	二	〇、六〇	〇	山海堂	二〇三
公證人法論綱	長谷川平次郎	一	〇、八〇	〇	三巖松堂	五
行人 人寸珍	夏目漱石	一	一、三〇	〇	大倉書店	三二
工人 訓話	眞島睦美	一	一、二〇	〇	大洋堂	六
實行進法教授書	眞島睦美	一	〇、六〇	〇	老鶴園	五
工人 寶典	小林豊吉	一	一、三〇	〇	弘道館	二七
訂正 進遊 戲	川瀬元九郎	一	〇、九〇	〇	老鶴園	五
行進遊遊提提	可兒、高見澤、矢島	一	一、三〇	〇	目黒書店	二五
各行進遊戲法精義	眞行寺吉太郎	一	〇、八〇	〇	二松堂	元
高青邱全集詩醇	齋藤拙堂	一	〇、四〇	〇	山堂	六
高青邱全集律詩部	近藤元粹	一	〇、三〇	〇	山堂	六
高青邱全集五言古詩部	近藤元粹	一	〇、三〇	〇	山堂	六
高青邱全集七言古詩部	近藤元粹	一	〇、三〇	〇	山堂	六
高青邱全集絶句之部	近藤元粹	一	〇、三〇	〇	山堂	六
幸田博士の努力論	稻毛祖風	一	一、五〇	〇	三成美堂	八
幸田博士の洗心録	稻毛祖風	一	一、五〇	〇	三成美堂	八
新珍形小諸集	觀世宗家	一	〇、六〇	〇	大爪堂	三
直入小諸大成	觀世宗家	一	〇、六〇	〇	大爪堂	三
流世小諸と獨吟	津田誠堂	一	一、〇〇	〇	精華堂	二七
幸田露伴美辭名句集	寶文社編輯局	一	一、〇〇	〇	新橋堂	七
好男 子	三宅青軒	一	一、三〇	〇	博文館	三
講談 十八番	講談諸家	一	一、三〇	〇	山堂	四
豪膽 少年	押川春浪	一	一、三〇	〇	大盛堂	九
講談 叢書	押川春浪	一	一、三〇	〇	大盛堂	九
講談 落語集	金港堂編輯部	一	〇、八〇	〇	港堂	九
講談 落語選	伯知、典山	一	一、〇〇	〇	文會堂	三
講談 落語大全	眞打、連語	一	一、〇〇	〇	八幡部甲陽堂	三
講談 落語名人揃	今村次郎	一	一、〇〇	〇	いろは書房	二
校註古事記讀本	速見仲三	一	一、〇〇	〇	榮堂	三
耕地整理綱要	上野英三郎	一	一、〇〇	〇	美堂	八
新耕地整理綱要	副島千八	一	一、〇〇	〇	警眼社	八
農耕地整理實施計例	井上福一郎	一	一、〇〇	〇	三建書院	三

書名	著者	冊数	定價	郵税	發行所	番號
幸田博士の努力論	稻毛祖風	一	一、五〇	〇	三成美堂	八
幸田博士の洗心録	稻毛祖風	一	一、五〇	〇	三成美堂	八
新珍形小諸集	觀世宗家	一	〇、六〇	〇	大爪堂	三
直入小諸大成	觀世宗家	一	〇、六〇	〇	大爪堂	三
流世小諸と獨吟	津田誠堂	一	一、〇〇	〇	精華堂	二七
幸田露伴美辭名句集	寶文社編輯局	一	一、〇〇	〇	新橋堂	七
好男 子	三宅青軒	一	一、三〇	〇	博文館	三
講談 十八番	講談諸家	一	一、三〇	〇	山堂	四
豪膽 少年	押川春浪	一	一、三〇	〇	大盛堂	九
講談 叢書	押川春浪	一	一、三〇	〇	大盛堂	九
講談 落語集	金港堂編輯部	一	〇、八〇	〇	港堂	九
講談 落語選	伯知、典山	一	一、〇〇	〇	文會堂	三
講談 落語大全	眞打、連語	一	一、〇〇	〇	八幡部甲陽堂	三
講談 落語名人揃	今村次郎	一	一、〇〇	〇	いろは書房	二
校註古事記讀本	速見仲三	一	一、〇〇	〇	榮堂	三
耕地整理綱要	上野英三郎	一	一、〇〇	〇	美堂	八
新耕地整理綱要	副島千八	一	一、〇〇	〇	警眼社	八
農耕地整理實施計例	井上福一郎	一	一、〇〇	〇	三建書院	三



書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
增補校訂長唄集	岡安南甫	一	四〇	富文館	坑道教範草案	陸軍省
鋼鐵製造術上卷	飯島龍男	一	一〇〇	三九	喉頭結核及其療法	細谷雄太
荒田隨筆	指月禪師	二	八五	〇〇	廣唐賢三味集	王漁洋
孝道	澤柳政太郎	二	五〇	〇〇	雙書孝道講話	足立栗園
合(カールス)同(トラス)	戸田海市	一	〇〇	〇〇	實業高等公民讀本	泉屋清次郎
最高等英語獨修書	吉田幾太郎	一	一〇〇	〇〇	訂正高等國文	高津鐵三郎
受驗高等英文作文	和田垣謙三	一	〇〇	〇〇	訂正高等國文	井田松井
高等英散文集	松本閣齋	一	五〇	〇〇	高等國文講義	山内二郎
高等英文文典	シエー、エ、シエー、モール	一	五〇	〇〇	高等國文讀本	編治書院
弘道館記述義	龜山雲平	二	〇〇	〇〇	果樹高等栽培論	福羽逸人
高等漢文軌範	太田趾堂	二	〇〇	〇〇	高等作文教範	北川博愛
高等漢文講義	久保天隨	一	五〇	〇〇	東京高等師範學校一覽	國民教育研究會
高等漢文講本	堀捨次郎	一	〇〇	〇〇	高等小學修身教授書	國民教育研究會
高等漢文讀本	第一高等學校	一	〇〇	〇〇	高等小學修身教授書	國民教育研究會
高等漢文讀本	漢文科教員	一	〇〇	〇〇	高等小學修身教授書	國民教育研究會
國民講堂訓話	相島勉三郎	一	〇〇	〇〇	高等小學修身教授書	國民教育研究會
高等警察法提要	阪井勳	一	五〇	〇〇	高等小學修身教授書	國民教育研究會

書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
定高等小學地理教師用	地理研究會	一	五〇	〇〇	英高等商業實踐	今井友次郎
新高等小學地理教師用書	共同販賣所	一	一〇〇	〇〇	高等商業數學	小林行昌
定高等小學地理教授書	共同販賣所	一	一五〇	〇〇	正高等青年新讀本	稻村修道
每時配當高等小學地理	普通教育	一	一〇〇	〇〇	高等地理學講義	永田健助
教案適用一教授書	研究會	一	一〇〇	〇〇	高等地理學講義	矢津昌永
高等小學綴り方	蘆田惠之助	二	三〇	〇〇	高等女學唱歌	納所辨次郎
新編定高等小學綴り方	共同販賣所	一	一三〇	〇〇	高等女學習字帖	阪正臣
教科書準據一教授書	共同販賣所	一	一三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	大槻源三郎
高等小學綴り方參考書	蘆田惠之助	一	〇〇	〇〇	訂正高等女學讀本	佐藤源三郎
女生用並高等小學讀本	國民教育	一	八五	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
第三學年用一解説	研究會	一	八五	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
定高等小學讀本教授書	共同販賣所	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
形式の解説を高等小學讀	國民教育	一	二〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
主としたる一教授書	研究會	一	二〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
高等小學讀本參考	馬淵冷佑	一	一〇〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
受驗準高等小學讀本自習	國語教授	一	八〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
備用一書	阿部雄	一	八〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
新高等小學歷史教授書	阿部雄	一	八〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
定高等小學歷史教授書	阿部雄	一	八〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
每時配當高等小學歷史教	研究會	一	八〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
教案適用一教授書	研究會	一	八〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
高等唱歌集	共益商社	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
高等唱歌集	納所辨二郎	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
高等唱歌集	飯島龍水	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
新按高等將基秘訣	飯島龍水	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
自定五年至正六年	飯島龍水	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
東京高等商業學校一覽	飯島龍水	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男
(近刊)	飯島龍水	一	三〇	〇〇	訂正高等女學讀本	鹽井正男























書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號	書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
三國文典教科書	吉田綱平	一	一、〇〇	〇、三	松久堂	三	聖訓國民訓話	帝國報皇會	一	一、五〇	〇、三	明誠館	一
國文の研究	小島政吉	一	〇、六〇	〇、長	久松社	五	訂正國民經濟學原論	津村秀松	一	五、七〇	〇、三	寶文館	一
中國文の講話	波邊眞一郎	一	〇、六〇	〇、〇	研究社	七	國民經濟學原論	山田伊三郎	一	四、五〇	〇、〇	富山房	一
國文	大島庄之助	一	〇、六〇	〇、〇	研究社	七	國民經濟學原論	福田德三	一	一、六〇	〇、〇	大倉書店	一
國文法	研究社編輯局	一	〇、三〇	〇、〇	研究社	一	國民經濟原論綱論	福田德三	一	四、六〇	〇、〇	佐藤出版部	一
國文法教科書	中等教科研究	一	〇、三〇	〇、〇	研究社	一	國民經濟講話	福田德三	一	四、六〇	〇、〇	佐藤出版部	一
國文法教本(改訂)	西岡嘉藏	一	〇、四〇	〇、〇	明治書院	二〇	國民經濟雜誌	柏佐一	一	一、五〇	〇、〇	寶文館	一
女子國文法教本(改訂)	西岡嘉藏	一	〇、四〇	〇、〇	明治書院	二〇	國民教育原論	野明敏治	一	一、〇〇	〇、〇	敬文館	一
小學校教員國文法講義	教育研究會	一	〇、五〇	〇、〇	六盟館	三	國民教育資料	加納友市	一	二、〇〇	〇、〇	寶文館	一
檢定受驗用國文法講義	山根甚圓	一	〇、六〇	〇、〇	芳流堂	一	國民教育の精神	美島近一郎	一	二、〇〇	〇、〇	寶文館	一
問題國文法講義	國語教授研究	一	〇、五〇	〇、〇	虎屋誠之堂	四	國民教育の本領	山内佐太郎	一	一、五〇	〇、〇	弘道館	一
新式國文法撮要	森脇俊作	一	〇、三〇	〇、〇	芳流堂	一	國民教育の本領	大隈重信	一	一、〇〇	〇、〇	明誠館	一
國文法要解	中興館編輯所	一	〇、三〇	〇、〇	中興館	一	國民教育の大本	眞田幸憲	一	一、〇〇	〇、〇	日黒書店	一
中國文補助教科書	森脇俊作	一	〇、三〇	〇、〇	芳流堂	一	國民教育の本領	千葉長作	一	〇、五〇	〇、〇	文陽堂	一
國文要解	日下部重太郎	一	〇、三〇	〇、〇	丁未出版社	一	國民教育の本領	通教育研究會	一	一、八〇	〇、〇	明誠館	一
國文朗讀法	國學院	一	〇、四〇	〇、〇	國書會社	六	國民教育の本領	通教育研究會	一	〇、八〇	〇、〇	三友堂書店	一
國文論纂	有賀長雄	一	〇、三〇	〇、〇	早稻田大學出版部	三	國民教育の本領	通教育研究會	一	〇、八〇	〇、〇	三友堂書店	一
國法學	山岸、中村	一	〇、五〇	〇、〇	博文館	七	國民教育の本領	通教育研究會	一	〇、八〇	〇、〇	三友堂書店	一
國防と國民	軍事攻究會	一	一、〇〇	〇、〇	明誠館	六	國民教育の本領	通教育研究會	一	〇、八〇	〇、〇	三友堂書店	一

書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號	書名	著者	冊	定價	郵稅	發行所	番號
我文學に國民思想の研究	津田左右吉	一	二、五〇	〇、三	洛陽堂	一	國民道德訓	徳川達孝	一	一、三〇	〇、三	誠堂	一
國民商業辭典	同文館編輯部	一	二、〇〇	〇、〇	同文館	三	國民道德綱要	文檢受驗會	一	〇、六〇	〇、〇	三友堂書店	一
趣味國民掌典	馬場峯月	一	一、五〇	〇、三	帝國實業學會	一	國民道德序論	巨理章三郎	一	三、〇〇	〇、六	金港堂	一
國民書簡文	小林篤里	一	〇、五〇	〇、〇	陽堂	三	國民道德と基督教	有馬祐政	一	〇、八〇	〇、〇	博文館	一
通俗國民常識講話	通教授研究會	一	一、〇〇	〇、三	明誠館	四	國民道德の教養	海老名禪正	一	一、〇〇	〇、〇	北文館	一
國民小讀本	大隈重信	一	〇、五〇	〇、〇	丁未出版社	三	國民道德の教養	吉田熊次	一	一、〇〇	〇、〇	日黒書店	一
國民小讀本	大隈重信	一	〇、五〇	〇、〇	丁未出版社	三	國民道德の教養	吉田熊次	一	一、〇〇	〇、〇	日黒書店	一
國民小讀本字解	大隈家編輯局	一	〇、五〇	〇、〇	寶文館	三	國民道德の根本義	大久保春野	一	〇、五〇	〇、〇	軍事教育會	一
國民新讀本	渡邊信治	一	〇、五〇	〇、〇	啓成社	二	國民道德の要旨	穂積八束	一	〇、三〇	〇、〇	共同販賣所	一
國民生活と宗教	東亞協會	一	〇、六〇	〇、〇	弘道館	三	國民道德の要旨	石井研堂	一	〇、六〇	〇、〇	同文館	一
國民性講話	加藤咄堂	一	〇、六〇	〇、〇	明誠館	七	國民道德百解	關富吉	一	一、三〇	〇、〇	廣文堂	一
國民性十論	芳賀矢一	一	〇、六〇	〇、〇	富山房	七	國民道德要義	深作安文	一	二、〇〇	〇、三	弘道館	一
國民性傳説	原正男	一	〇、七〇	〇、〇	實業日本社	三	國民道德要義	明治教育社	一	一、〇〇	〇、〇	大同館	一
歐米國民性の訓練	野田義夫	一	三、〇〇	〇、六	同文館	一	國民道德要領	吉田靜致	一	一、五〇	〇、三	寶文館	一
國民叢書	徳島猪一郎	一	七、三〇	〇、二	民友社	二	國民道德要領	藤本慶祐	一	一、五〇	〇、三	寶文館	一
國民地圖(新編)	原秀四郎	一	一、〇〇	〇、〇	弘道館	三	國民讀本	大隈重信	一	一、五〇	〇、三	丁未出版社	一
國民地圖(新編)	北澤	一	一、〇〇	〇、〇	弘道館	三	國民讀本	大隈重信	一	一、五〇	〇、三	丁未出版社	一
國民地圖(新編)	石田林藏	一	一、〇〇	〇、〇	弘道館	三	國民讀本	大隈重信	一	一、五〇	〇、三	丁未出版社	一
國民地圖(新編)	中村孝也	一	一、〇〇	〇、〇	弘道館	三	國民讀本	大隈重信	一	一、五〇	〇、三	丁未出版社	一
國民地圖(新編)	中村孝也	一	一、〇〇	〇、〇	弘道館	三	國民讀本	大隈重信	一	一、五〇	〇、三	丁未出版社	一







